

各 位

不動産投資信託証券発行者名
東京都中央区日本橋兜町9番1号
平和不動産リート投資法人
代表者名 執行役員 本村 彩
(コード番号: 8966)

資産運用会社名
平和不動産アセットマネジメント株式会社
代表者名 代表取締役社長 平野 正則
問合せ先 企画財務部長 伊東 芳男
TEL. 03-3669-8771

自己投資口取得に係る事項の決定に関するお知らせ
(投資信託及び投資法人に関する法律第80条の5に基づく自己投資口の取得)

平和不動産リート投資法人(以下「本投資法人」といいます。)は、本日開催の本投資法人役員会において、投資信託及び投資法人に関する法律第80条の5第2項の規定により読み替えて適用される同法第80条の2の規定に基づき、以下のとおり自己投資口取得に係る事項について決定しましたので、下記のとおりお知らせいたします。なお、取得した全ての投資口については、2020年11月期(第38期)中に消却することを予定しています。

記

1. 自己投資口の取得を行う理由

本投資法人は「運用資産の着実な成長」と「中長期的な安定収益の確保」を基本理念として掲げ、投資主価値の最大化に取り組んできました。

本投資法人は、2020年7月6日付「資産の譲渡に関するお知らせ(HF梅田レジデンスTOWER)」で公表したとおり、HF梅田レジデンスTOWER(帳簿価額1,696百万円)を譲渡し、譲渡代金2,620百万円を得る見込みです。本譲渡によって得られる資金のうち最大1,700百万円を自己投資口の取得に充て、残額については第37期の分配金の一部と、不測の事態に対する備え、将来の分配金支払原資あるいは将来の資産取得に充てる方針です。

本投資法人の投資口価格は新型コロナウイルス感染症の拡大とともに大きく下落しましたが、不動産取引市場では依然として高い水準での売買が成立しており、本譲渡物件についても鑑定評価額を大幅に上回る価格で譲渡することができています。本譲渡による分配可能利益の減少見込額(年間41.0百万円)は譲渡価額の1.56%、帳簿価額の2.42%に相当します。その一方で本日公表の2020年11月期(第38期)及び2021年5月期(第39期)の予想分配金と投資口価格に基づく予想分配金利回りは5.41%であることから、本取得によって増加する1口当たりの分配可能利益は、本譲渡によって減少する当該利益を上回ることが期待できます。併せて、1口当たり純資産価値の改善とROEの向上等の投資主価値の向上につながるものと考えます。

今後も引き続き投資主価値の向上といった視点に立ち、運用資産の着実な成長と中長期的な安定収益の確保を目指していきます。

ご注意:本報道発表文は、本投資法人の自己投資口取得に係る事項の決定に関して一般に公表するための文書であり、投資勧誘を目的として作成されたものではありません。

2. 取得に係る事項の内容

(1) 取得し得る投資口の総数	25,000 口 (上限) (発行済投資口の総口数 (自己投資口を除きます) に対する割合 2.46%)
(2) 投資口の取得価額の総額	1,700,000,000 円 (上限)
(3) 取得期間	2020 年 7 月 16 日～2020 年 9 月 15 日まで

上記の取得し得る投資口の総数の上限もしくは投資口の取得価額の総額の上限のいずれかに達した時点、または、上記の取得期間が満了した時点で、本投資法人による自己投資口の取得は終了する予定です。なお、投資口の取得価額の総額については、本日現在の手元資金の状況、自己投資口の取得実行後の LTV 水準及び 2020 年 11 月期 (第 38 期) 中の消却完了までに要する時間等に鑑み、その規模を決定しました。

(注) 本投資法人の投資口価格水準や流動性、市場動向等によっては、取得する投資口の総数及び取得価額の総額が上限に到達せず、または全く取得が行われない場合があります。

3. 自己投資口の取得方法

自己投資口の取得については、すべて証券会社との自己投資口取得に係る取引一任契約に基づく東京証券取引所における市場買付けにより実施する予定です。

なお、本自己投資口の取得終了後、2020 年 11 月期 (第 38 期) 中に、本投資法人役員会での決議により、取得した全ての自己投資口を消却する予定です。

以 上

(ご参考)

2020 年 7 月 15 日時点の自己投資口の保有状況

発行済投資口の総口数 (自己投資口を除きます)	1,014,847 口
自己投資口数	0 口

* 本投資法人のホームページアドレス : <https://www.heiwa-re.co.jp/>

ご注意：本報道発表文は、本投資法人の自己投資口取得に係る事項の決定に関して一般に公表するための文書であり、投資勧誘を目的として作成されたものではありません。